

感染症 ひとくち情報

梅毒患者が増加しています!!

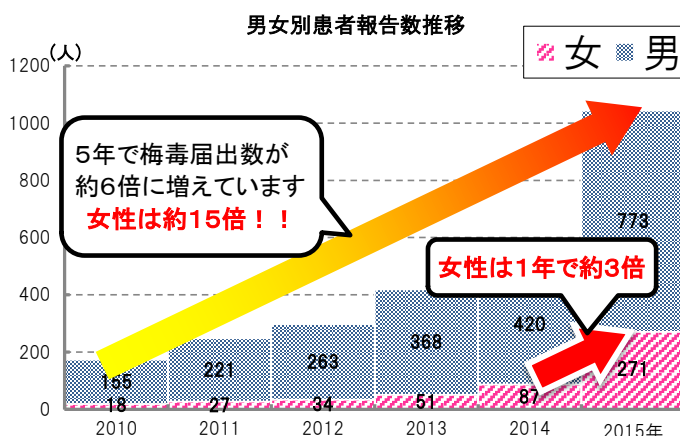


2016年3月25日

東京都健康安全研究センター

1. 現在の流行状況 — 若い女性の感染者が増えています

近年、患者報告数が増加しています。2015年の患者報告数は1044人と過去10年間で最多となっており、女性（特に20歳代から40歳代）の割合が増加しています。



2. 梅毒とは

梅毒は、性的な接触（他人の粘膜や皮膚と直接接触すること）などによって感染し、全身に様々な症状が出る感染症です。病気の時期により症状が異なり、時に無症状のこともあります。

検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

3. 先天梅毒とは

妊婦が梅毒に感染すると、胎盤をとおして胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡と奇形が起こることがあります。先天梅毒の報告は現在ではまれですが、近年の梅毒患者の増加により、発生数の増加が危惧されています。

前期の妊婦健診で梅毒検査が行われていますが、検査陰性の妊婦が出産までに感染したことで先天梅毒となった報告もあります。



4. 予防について

- お互いに感染しない・させないためにパートナー同士の感染有無の確認が必要です。
- 不特定多数との性行為、疑似性行為を避けることが基本になります。
- コンドームを正しく使用することが大切です。
- 妊娠中の方は、妊婦健診をしっかり受診し、その後の感染予防にも努めましょう。
- 感染が疑われる場合は早めに医療機関を受診しましょう。

東京都感染症情報センターの「梅毒 (Syphilis)」のページもご参照ください。

梅毒 東京都

検索

